

放課後等デイサービス事業所『かぜのこ』職員自己評価  
職員回答数:6名

令和6年度  
公表日 令和7年 3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善が必要な点・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	訓練室等のスペースは、利用定員との関係 に対して適切であるか	6				
	②	職員の配置人数は適切であるか	6				・基準を満たしているが、スタッフ数が増 やすことができると、より丁寧な療育が できると考えている。
	③	施設の設定等について、バリアフリー化の 配慮が適切であるか	6				
業務改善	④	業務改善を進めるために、ケース会議、支 援会議等に関係する職員が参画しているか	6				・より多くのスタッフが参加できるよう、 時間内の子ども達が不在の時間に実施 している。
	⑤	保護者等と定期的なモニタリングを実施し たり、面談する機会を定期的に設け、業務 改善に繋げているか	4	2			・ご家族の都合を伺いながらの日程調整が 必要。 ・実施方法を工夫する必要がある（時間を 合わせる事が難しい時がある）
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか又は、予 定はあるか	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善に繋げているか			6		・第三者が評価することで、客観的視点で 業務の見直しが行われると良い
	⑧	職員の資質の向上を図るために、研修の機 会を確保しているか	5	1			・外部、内部研修にすべてのスタッフに参 加してもらっている。また勉強会を企画 し、支援の質の向上に努めている。
適切な支 援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、支援計画を作成しているか	4	2			・複数のスタッフでアセスメントを行うこ とで、視点や見解の偏りが出ないように している。
	⑩	子どもの適応行動、障がい特性を図るため に、標準化されたアセスメントツールを使 用しているか	5	1			・事業所に合った形のシートを作成し、 発達状況や特性の把握に努めている。
	⑪	子どもたちが楽しめるように、活動プログ ラムの立案をチームで行い、固定化しない 工夫をしているか	5	1			・プログラムの作成をチームで行い、様々 な意見を取り入れることで内容が慢性化 しないようにしている。
	⑫	平日、祝日、長期休暇など利用時間に合わ せた課題を設定して支援しているか	5	1			・平日、祝日など営業時間に合わせて、余 暇・課題・外出等のプログラムを組んで いる。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ、支援計画を作成し ているか	4	2			
	⑭	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、 その日の内容や役割分担について確認し ているか	6				
	⑮	支援終了後には、職員間で振り返りを行 い、気付いた点等を共有しているか	5	1			・内容によって朝や療育後など報告するタ イミングを変えている。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	6				・記録の効率化を図ることが必要（アプリ などの活用も検討）
	⑰	定期的にモニタリング等を行い、必要に応 じて個別支援計画の見直しを行っているか	6				・会議を開催し、複数の意見を伺いなが ら作成している。
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っているか	4	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善が必要な点・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑱	サービス担当者会議には、その子どもの状況に精通した者が参画しているか	5	1			・多くの関係者に参加してもらえるよう日程の調整が必要。
	⑳	学校との情報共有を適切に行っているか	4	2			・主に送迎の際など担任の先生と情報の共有を図っている。会議等の際にも共有を図ることができている。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、施設等との間で情報を共有し支援に努めているか	2	3	1		・電話、メール、訪問など場面によって共有方法を変えている ・全ての機関と共有は行えていない。円滑に療育を提供していくために、積極的に交流を図
	㉒	卒業後、福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を本人、保護者の同意のもと、提供し連携を図っているか	3	2	1		・進路先からだけではなく、自発的に連絡を取り、対象者の卒業後の様子を伺うことが必要 ・担当者会議などの席では伝えることができ
	㉓	各関係機関（児童発達支援センター、発達障害支援センター等）と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1		・合同又は近隣事業と共に研修会を実施することができると良い
	㉔	様々な年代の子どもや障がいのない子どもと活動や交流する機会があるか	3	3			・祝日や長期休暇時など年齢の異なる子どもとの関わりの機会を設けることができているが、身体面、理解度の違いによるトラブルやケガに注意している。 ・公園や児童館などの利用を通し交流を図っている。
	㉕	（地域自立支援）協議会や連絡会議等へ積極的に参加しているか	3	1	1	1	
保護者への説明責任等	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの状況や課題について話し合っているか	6				・ご利用の際に、活動内容や様子をお伝えすることができている。 ・課題をお伝えする際には、言葉に配慮する必要がある。
	㉗	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		1	5		・研修を受講することが必要。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担金等について丁寧な説明を行っているか	6				・契約時にお伝えはしている。わかりやすい言葉を使うことが必要。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に必要な助言と支援を行っているか	4	2			・お迎えの際や面談時に聴き取りを行っている。家庭でも実施できる内容をお伝えすることが大切だと考えている。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、迅速かつ適切に対応しているか	6				・契約時に申立先をお伝えしている。 ・内容にもよるが、可能限り早急に対応できるようにしている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1		・事業所の活動内容を多くの方に知っていただくために、発信の機会を増やしていきたい。
	㉜	個人情報、適切に管理されているか	6				
	㉝	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1			・ことばを選んでわかりやすく説明している ・児童が理解できているかが不安
	㉞	事業所や法人の行事に地域住民を招待する等、地域で開かれた事業運営を図っているか		2	4		・風通しの良い事業所を作っていくために、近隣の方が自由に見学できる機会を設けていくことが必要。 ・感染症等の予防の観点もあり、積極的な働きかけが行えていない。行うための課題をクリアにすることが必要。
	㉟	保護者のお迎えの際に、子どもの活動内容や状況等の報告を分かりやすく説明をしているか	6				・より状況がわかるよう、写真等を見てもらいながら伝えている

	③⑥	支援の方向性と経過について、個別支援計画やモニタリング等を通じ、適切な説明がなされているか	6					・可能な限りわかりやすい言葉を使用して説明をしている。
		<b>チェック項目</b>	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		改善が必要な点・工夫している点など
非常時等の 対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、災害マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1				・内容の周知までには至っていない。緊急時にどのような対応をするかなど伝える機会があると良い。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等を行っているか	6					・火災、災害（地震、水害）を想定しての訓練を実施している。
	③⑨	虐待を防止するため、定期的に研修会への参加の機会を設け、勉強会等を開催し支援向上を図っているか	6					・法人内においても研修会を企画し実施している。また外部研修にも積極的に参加させている。
	④⑩	やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画等に記載しているか		3	1	2		・対象者がおらず対応をした経験がないが、今後そのような方がいた際は、適切な対応を図っていきたい
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、保護者等の指示に基づく対応が、事業所内で出来る範囲で対応がされているか	6					・法人内の調理部門と連携を図りながら対応している。また定期的に保護者にアレルギー等の確認を行っている。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	6					・文書の他、朝の打ち合わせで報告している ・共有のみならず、対応の検討をチームで行っていく